

林福連携による林業への就業を支援するため、生活困窮者を対象とした植林のトライアル雇用を実施しましたので、その様子をご紹介します。

発行 令和4年1月20日  
盛岡広域振興局林務部

## 「植林のトライアル雇用」を実施しました

令和3年11月10日(水)と11月16日(火)の2日間、林福連携による林業事業体でのトライアル雇用(短期のお試し雇用)を実施しました。

矢巾町福祉課と矢巾町社会福祉協議会が支援している生活困窮者3名(50代2名、40代1名)が参加し、(有)川又林業の所有する紫波町東長岡の山林内で、カラマツコンテナ苗の植栽作業を行いました。

川又林業からは、川又社長の他に、指導者として3名ご対応いただきました。

両日とも9時30分に集合し、ミーティング後に準備体操をしてから、道具を持って植栽地に移動し、12時までの2時間半、指導を受けながら以下の工程で作業を行い、終了後は賃金が支給されました。

①竹の棒(物差し)を使用して植栽位置を決める

②植栽器を使用して植穴をあけ、苗木を植付ける

全員、コンテナ苗の植栽は初めてでしたが、だんだん慣れ、竹棒の使い方や植栽器の振り下ろし方が上手になっていきました。

ただ、短時間とはいえ体力的に相当きつかったようで50代の2名は初日で脱落してしまいました。

2日目は1名のみの参加となりましたが、初日にコツをつかんだようで、作業はスムーズでした。

疲れてくると植栽位置を間違いそうになることもありましたが、経験を積めば問題ないと思われそうです。

参加された皆さん、大変お疲れ様でした。

また、参加者の受け入れと作業の指導をお引き受けいただいた川又林業の皆様、参加者の紹介と当日の立会をしていただいた矢巾町福祉課及び矢巾町社会福祉協議会の担当者様、ご協力ありがとうございました。

**参加者と指導者の感想**は以下のとおりです。

- ・体力的にきつかった。体を動かすことに慣れていないので大変だった。(参加者)
- ・機会があれば、また参加したい。(参加者)
- ・最初は体力が続かないが、少しずつ慣れてくるし、まずは取り組む姿勢が大事。(指導者)
- ・自分が指導した参加者は懸命にがんばっていた。(指導者)
- ・現場まで移動する「足」の確保が課題。(指導者)

盛岡広域振興局林務部では、今後も林福連携による林業への就業支援に取り組みます。



トライアル雇用参加者と川又社長



参加者による植林作業の様子

第73回

# 全国植樹祭 いわて 2023

緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から



## 岩手県で「全国植樹祭」が開催されます！



令和5（2023）年春、陸前高田市で「第73回全国植樹祭」が開催されます。  
岩手県では、昭和49（1974）年5月に旧松尾村（現八幡平市）で開催した第25回大会以来、49年ぶり2回目の開催となります。

### 全国植樹祭とは？

森林・緑に対する国民の理解を深めるために行う行事で、昭和25（1950）年に山梨県で第1回大会が開催されて以降、各都道府県持ち回りで毎年開催されています。

天皇皇后両陛下御臨席のもと、全国から多くの招待者を迎えて式典や植樹行事が行われます。



第70回愛知大会の様子



第25回岩手大会の様子

### 開催概要

- ① 開催時期：令和5年春季（1日）  
※開催日は令和4年8月決定予定
- ② 会場：高田松原津波復興祈念公園（陸前高田市）
- ③ 大会テーマ：「緑をつなごう 輝くイーハトーブの森から」



高田松原津波復興祈念公園

### 開催理念

- ① 県民参加による森づくりと、森林資源の循環利用を推進します。
- ② 森林の恩恵を県内外にアピールし、健全で豊かな森林を次の世代へ引き継いでいきます。
- ③ 世代を越え県を越え全国の皆様に参加できる全国植樹祭にします。
- ④ 感謝の気持ちを込めて東日本大震災からの復興の姿を国内外へ発信します。

### 式典行事及び植樹行事

- ① 式典行事：プロローグアトラクション、  
記念式典（黙とう、天皇陛下のおことば、表彰、  
天皇皇后両陛下のお手植え・お手播き など）  
エピローグアトラクション
- ② 植樹行事：県内外からの招待者による記念植樹



お手植えの様子（愛知大会）

### 【第73回全国植樹祭公式ホームページ】

URL <https://syokujusai-iwate2023.jp/>

または、「全国植樹祭 岩手 2023」で検索してください

